

精神障害者と愛着障害児の心の回復コンサート 「なにわゴスペルフェスティバル」

特定非営利活動法人 ジェイズマスクワイア

〒547-0027 大阪府大阪市平野区喜連 1-4-32

助成事業の概要

実施目的：精神障害者と愛着障害児またそれらの家族に対し、音楽やダンス、また親子整体などを用いて情操面の癒しを図り、障害当事者だけでなく、家族の関係回復を目指します。

時期：2023年4月より月1回の定期音楽会を開始。同年8月31日（土）大阪市北区のライブハウス「Rawtracks」にて開催を計画するも、台風の直撃を受け、2025年1月11日（土）に延期開催することになりました。

内容：精神障害者、愛着障害児、またそれらの家族を中心とした一般参加者も集い音楽と親子整体やダンスを導入した、心の回復事業「なにわゴスペルフェスティバル」を開催。

またプロの演奏家や出演者がそれぞれに個性的なステージを展開しました。

特に渡辺氏、東岡氏という整体のプロフェッショナルが技術を披露し、訪れていた家族、親子を中心として、会場中一体となって親子整体とこのイベントを楽しみました。

事業の成果

2024年度の私たちの目標は「精神障害者、愛着障害児の心の回復と家族の関係回復」でした。2024年4月から始まった定期交流会に参加してくれた障害者及び障害児、またその家族が集まり、とても暖かい空気の中で事業を推し進めて行くことが出来ました。

本来の着地点である8月31日のコンサートは、

大阪を直撃した台風によって、中止せざるを得なくなりましたが、日社済様から許可をいただき2025年1月11日に当初の計画と同じ場所にて、無事開催することが出来ました。そして最初の計画時に参加を表明していたほとんどの一般を含む障害者、またその家族が参加してくださいました。

また会場には子供を含む親子も多く参加され、特に親子整体の時は会場が一体となって子供も大人も整体を体験するという、予想を上回る盛り上がりとなりました。

今回の事業目的の大きな柱は「精神の回復」と「家族関係の回復」でした。

内閣府の調査発表によると、現在ひきこもりの割合は15歳～39歳までの若者の2.05%、40歳～64歳の中高年の2.02%で、日本全国のひきこもりの人数は146万人と推計されています。

私たちの地域でも、長引く引きこもりによって家族同士が傷つけあう事象が増加するなど、家族の関係悪化が最大の懸念事項となっています。

また経済的な理由などにより、乳幼児のころから保育園に預けられる子供が、他者、特に親に甘えることが出来なくなる愛着障害児も増加しています。

長引く引きこもりと愛着障害者数増加の示す未来は家族関係の崩壊です。

これらのことに着目し、また実際に解決に向けた活動が今、本当に求められていると実感し、今回の事業を実施しました。

参加された皆さんと歌い踊り、楽しみ多くの参加者から「心身とも癒されました」と言っていた

き、また子供たちからも「楽しかった」と感想を聞くことが出来ました。

このことが実現できたことは私たちの大きな喜びであり、この事業が開催できたことを心から感謝しております。

■ 成果の広報・公表

2025年2月に開催される「障害者交流会」において、写真や動画を用いて1月11日に行われたコンサートの成果発表を行います。

また3月に行われる「地域交流会」においてコンサートレポートを発表するとともに、私たちの活動を地域に広報いたします。

また私たち法人のHP <https://npojmc.com/>でもレポートを公開いたします。

コンサート開催後の参加者の声

障害者家族：普段あまり親に甘えてくれない息子（6歳）でしたが、コンサート参加後からマッサージをしてくれるようになり、会話も増えて来ました。ありがとうございました。

精神障害当事者：東浦則夫さん。鬱病から引きこもりになって10数年ですが、コンサートに参加することにより、外に出る機会があってよかったです、みんなと歌ったことがとても楽しかったです。

■ 今後の展開

今回のイベントにおいては、私たち法人の所在地域から、また他地域からも多くの参加者がありました。それは鬱病などによる引きこもり者や、親子関係をうまく保てない家族が増加していることを意味していると思われます。

今後は私たちの法人事業所（大阪市東住吉区）を更に活用し、音楽のみならず、地域のダンス教室や指導者などとも連携し、フィジカル面からの精

神回復を推進していきます。

また大きな手ごたえがあった親子整体も、定期交流会の中で更に実施して行き、ふれあいの場を広げていく方針です。

音楽を通じての心の癒しはもちろん、親子整体指導者の東岡誠氏も息子さんと親子で交流会に参加してくださり、益々今後の障害者、障害児またそれらの家族にとっても大きな回復のきっかけになると感じています。